

## 第 31 回防災文化講演会「地域と災害の歴史を伝えるために」を開催しました (2019/09/28)

テーマ：地域と災害の歴史を伝えるために

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/organization/kesenuma/kouenkai.html>

9月28日（土）に、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館研修室 A/B にて、第31回防災文化講演会（主催：東北大学災害科学国際研究所、共催：気仙沼市）を開催しました。当研究所は平成25年7月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、気仙沼分室を気仙沼市内に設置して、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでいます。その活動の一環として、防災に関する講演会を年に数回開催しています。

第31回を迎えた今回は、神奈川大学日本常民文化研究所の窪田涼子氏をゲストに迎え、「地域と災害の歴史を伝えるために」をテーマに、①「東日本大震災からの史料保全活動について」（蝦名裕一准教授 人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）、②「被災した大島漁協資料のレスキューに携わって」（窪田涼子氏）と題した2つの講演が行われました。全体進行は気仙沼分室職員がつとめ、30名の方にご参加いただきました。特に、大島から多くの参加を頂き、保全活動への謝意が述べられるなど、盛会のうちに終わりました。



講演① 蝦名裕一 准教授



講演② 窪田涼子氏



会場の様子①



会場の様子②

文責：塚本卓（気仙沼分室委託業務責任者）  
佐藤翔輔（人間・社会対応研究部門）